



WELCOME * SHANGHAI

GET OUT UNDER THE MOON • BEI MIR BIST DU SCHON • ST LOUIS BLUES • SING SING SING • I'M FOLLOWING YOU • SWEET JENNIE LEE • IN THE SHADE OF THE PINE

命かけて、あなたこそ。
私の恋人、いつまでも。



松坂 慶子
風間 杜夫
平田 満
ケン・フランケル
草野 大悟
三谷 昇
夏木 勲
志穂美悦子
宇崎 竜童

深作欣二監督作品
Everybody loves somebody somewhere
Everybody loves something sometime

上海パンスキング

原作/斎藤嶺
(前立劇場刊)
製作 織田明・斎藤守雄
脚本 田中園造・深作欣二
撮影 丸山善司
美術 森田經平・横山 豊
音楽 越部信義
制作協力
※十二層エタープライズ
※シャンアクションクラブ
※東京光通社
指導 松竹系 森シネマ

松竹映画

深作欣二監督作品

原作/齋藤 憐 (而立書房刊)



「上海バンスキング」映画化にあたって

深作欣二

ここ数年、衝撃と共に、自分の原初体験を呼び起された記憶は、この「上海バンスキング」以外にはない。

昭和11年の二・二六事件から、昭和20年の敗戦に至るまでの「大日本帝国」の罪業の歴史を、一九三〇年代のあのなつかしいジャズのメロディにのせて、見事に語りつくした所に、この原作の魅力があり、芝居の成功もあったのだろう。すでに輝かしい成功をおさめた原作の映画化は、それだけですでに気重い圧力を感じるが、それは同時に有難いめぐり会いでもある。観客諸氏の御期待を裏切らぬよう、精一杯つとめたいと考えている。

解 説

ウエルカム・シャンハイ——夢ちりばめた魅惑の魔都へようこそ。

世界でも類をみない雑踏の大都会——その名は上海。戦前の上海は、人口約300万、48ヶ国の人間が雑居していた。街を特徴づけた「租界」と呼ばれる植民地区に、世界中からあらゆる物が流れ込み、政治の間の不安定な繁栄と自由にひかれて、多種多様な人種が集まっていた。

さまざまな顔を持つ当時の上海——このドラマは、昭和10年代、こんな「上海」に迷い込んだジャズメンたちの物語である。

1000円も出せば家が一軒買える時代に500円の月給をとりながら、いつも粋がつてみては女と遊びに呆けて金に困り、バンス(前借り)キングの異名をとる、そんな素敵なジャズマンが当時にはいた。戦争の足音が忍び寄り、圧倒的な力がドラマチックに世の中を変えようとしたこの時代でも、彼の眼に映るものは、上海が醸し出す七色の光だった。若者たちが自由でありたいと思うころは、いつの時代も同じである。それが不自由な時代であればこそ、求めるころは激しく噴き出していく。戦争の嵐に否応なく巻き込まれてしまうなか、彼らは熱っぽい眼で時代を見つめ、それぞれの夢とあこがれと可能性に賭けていた。

そんな彼らに、「昨年「蒲田行進曲」で映画各賞を独占した深作欣二監督が、燃える想いでラブ・コールを送った。

この作品は、深作監督が、ある種破滅的な昭和史を軽いフットワークで描きながら、主人公たちに熱い共感を寄せる人間讃歌のメッセージである。

昭和11年、絢爛で華やかな国際都市・上海は麻薬とギャンブルとジャズのメッカであった。

当時の日本は、二・二六事件に始まる暗い時代を迎え、日本中が窮屈な空気を感じて始めている。ジャズの魅力にとりつかれていたシローは、新妻のまどかとともにこの地へやってきた。上海には、ジャズ仲間バクマツが二人を待っていた。

彼らのジャズとむせかえるほど自由な日々が始まった。しかし彼らの夢の日々も長くはなかった。翌12年、日中戦争の勃発とともに、上海の街はその絢爛たる色彩を失い始めた。

そして、ジャズだけが人生だった若者たちもしいにその「大きな渦」に巻き込まれていく。

出演は、信じた男と奔放に生きたいとひたすらに思いつづける社長令嬢マドンナことまどかに松坂慶子、純粹にジャズに魅せられた男・シローに風間杜夫、バクチ好きのためにバクマツと呼ばれている松本に宇崎竜童。その妻リリーに志穂美悦子、マドンナを慕い上海までやってくるがふられ、のちに軍の要人となる弘田に平田満、そして、マドンナにほのかな恋心を抱く中尉に夏木勲と、待望久しい「蒲田トリオ」の再現、加えて魅力的なキャストが顔を揃えた。

また、劇中で使用される「キング・キング・キング」〈セントルイス・ブルース〉「夜のタンゴ」など、当時を代表する音楽が年代を越えて観る人のところにひびくことだろう。

明るく楽しげに、涙と笑いをスクリーン一杯にあふれさせた、とびつきりはじけた、映画の誕生である。今秋公開。

上海バンスキング

キャスト

波多野まどか(マドンナ)	松坂慶子
波多野四郎(シロー)	風間杜夫
松本巨(バクマツ)	宇崎竜童
林珠穂(リリー)	志穂美悦子
弘田真造	平田満
白井中尉	夏木勲
ガチャコン・ラリー	ケン・フランケル
方さん	三谷昇
王(ラリーの仔分)	草野大悟
ジャズブレイヤー	湯沢勉
(アルト・サクソ)	三輪鎮夫
(テナール・サクソ)	黒石正博
(トランペット)	光井章夫
(ドラム)	石川晶
(ベース)	島田康雄
(ピアノ)	来住野潔
(トロンボーン)	綾田俊樹
(ギター)	郭長谷川康夫

公開

10.20

熊本松竹